



2024年9月30日

各 位

会社名 株式会社 篠崎屋
代表者名 代表取締役 関根 雅之
(コード番号 2926 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理グループ長兼経営企画部長
兼 I R 室長 矢立 実
電話番号 048-970-4949

2024年9月期通期業績予想の開示に関するお知らせ

当社は、2024年9月期通期（2023年10月1日～2024年9月30日）の業績予想が公表できる段階となりましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年9月期通期の業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2023年9月期通期実績（A）	2,680	△77	△73	△22	△1.61
発 表 予 想（B）	2,801	△11	△7	△34	△2.47
増 減 額（B-A）	121	65	65	△12	△0.86
増 減 率（％）	4.5	—	—	—	—

2. 通期業績予想の開示理由

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による影響が大きく、予測が困難なため通期業績予想の開示は行っておりませんが、現時点における入手可能な情報や予測に基づき、業績予想の開示が可能と判断いたしました。

当社売上の約90%程度を占める主要事業である小売事業において、商品につきましては、買いやすい価格帯に設定した新商品開発や既存商品の規格見直しを強化し、顧客数の確保と売上高の拡大に取り組んでまいりました。

店舗におきましては、引き続き開店時間から12時までの時間帯に「朝市」を開催し、購買意欲の高い顧客層の来店頻度の向上を図りつつ、更なる顧客数確保のため店頭商品の大幅な見直しを行ってまいりました。

この結果、1店舗平均の顧客数は前事業年比約103%で推移、顧客単価は前事業年比約109%となり、売上高は前事業年度比104%となる見込みです。

利益面につきましては、販売価格の見直しにより粗利率が1.4%改善されるも原材料の高騰等の影響もあり営業損失は11百万円（前事業年度は営業損失77百万円）、特別損失として減損損失5百万円、店舗閉鎖損失4百万円等を計上した結果、当期純損失は34百万円（前年事業年度は当期純損失22百万円）となる見込みです。

以 上